

安全管理

ISO 22000チェックリスト

監査の準備はできていますか？

チェックリスト

LRQAのチェックリストを用いて、認証の準備が十分にできているかどうかを確認してください。

お客様またはお客様の会社に当てはまる項目にチェックを付けて、すでに満たしているISO 22000の要求事項と、さらに注意が必要となりうる要求事項を明確に把握することができます。

このチェックリストは、ISO 22000:2018の構成に基づいており、ISO 22000の認証を取得するための要求事項を含む箇条4から10に焦点を当てています。

箇条4－組織の状況

☐ パフォーマンス、戦略的方向性、および会社の目的に影響を与える内部要因を特定している（例えば、スタッフの能力、文化など）。

☐ パフォーマンス、戦略的方向性、および会社の目的に影響を与える外部要因を特定している（例えば、法や競争または経済に関連する要因）。

☐

社内および社外の要因の結果として、会社にどのような機会とリスクが発生するかを把握している。

☐

食品安全マネジメントシステム (FSMS) に影響を与える内部 (従業員、労使協議会など) および外部 (顧客、住民、競合企業など) の利害関係者の期待を把握している。

☐

食品安全に影響するすべての側面 (活動、製品/サービス、利害関係者など) を考慮して、食品安全マネジメントシステムの範囲を定義している。

☐

ビジネスプロセスを明確に定義し、それらが互いにどのように影響し合っているかを把握している。

☐

ビジネスプロセスがどのように管理されているかを明確に定義し、それらを定期的に監視している。

☐

定義された範囲内でプロセスを外部委託している場合、それらの名称を挙げ、その理由を説明することができる。

箇条5－リーダーシップ

☐

会社のトップマネジメントが、FSMSについて明示的に責任を持ち、その有効性と保全を確保している（定期的なチェックを通じてなど）。

☐

会社のトップマネジメントが、会社の状況と戦略的方向性を考慮して、食品安全方針を定義し、文書化し、提供している。

☐

会社のトップマネジメントが、顧客のニーズが一貫して理解され、満たされることを確実にしている。

☐

会社のトップマネジメントが、製品またはサービスの安全性について、法律や規制の要求事項が一貫して理解され、遵守されることを確実にしている。

☐

組織内の役割、責任、権限が明確に定義され、文書化され、周知されている。

箇条6－計画

☐

会社にとっての機会とリスクを特定し、分析し、それらに対処するための手段を定義している。

☐

特定の機会とリスクに対する手段を定義していない場合、これを明確かつ確証的に説明することができる。

☐

食品安全マネジメントシステムに必要なすべての機能、レベル、およびプロセスについて、測定可能な食品安全目標を定義し、文書化している。

☐

食品安全目標が、自社の食品安全方針に合致している。

☐

食品安全目標を達成するための手段を定義している。

☐

FSMSの変更を体系的計画に基づいて実施している。

箇条7－支援

☐

FSMSのセットアップ、保守、継続的改善に必要な資源を特定しており、それらを提供することができる。

☐

FSMSを実施するために、必要な人員と必要なインフラストラクチャーを特定しており、それらの利用を可能にすることができる。

☐

可能性のある社会的、心理的、物理的影響要因を考慮して、FSMSの実施のためのプロセス環境を決定し、提供している。

☐

製品およびサービスが指定された要求事項に準拠していることを確実にするために、資源を特定して割り当て、信頼性の高い監視を確保している。

☐

プロセスの実施と製品の適合の達成に必要な知識が、組織内で確実に利用可能で維持されるようにしている。

☐

会社の従業員が必要なスキルを持っていることを常に確実にしている。

☐

社内で監督下にあるタスクを実行するすべての従業員が、食品安全方針と食品安全目標についての情報を提供され、不適合の結果を認識していることを確実にしている。

☐

定義済みのコミュニケーション戦略(内部および外部)がある。

☐

文書化された情報を扱う場合、戦略的に進めることで、常に最新であり、完全であり、適切な形式で保護されていることを確実にしている。

箇条8－運用

☐

製品またはサービスの要求事項を正確に決定し、定義されたプロセスに従ってそれらを満たしている。

☐

製品やサービスの提供に関する顧客とのコミュニケーションが明確に定義されている。

☐

会社において顧客の所有物の取り扱いが明確に規定されている。

☐

予期せぬ事態が発生した場合のために、顧客とのコミュニケーションに「緊急対策」を追加している。

☐

製品またはサービスが、すべての法的および公的な要求事項を満たしている。

☐

製品およびサービスの要求事項に関して必要となる可能性のある変更を管理、文書化、および周知できる。

☐

その後の生産またはサービスの提供を実施し確実にするために、総合的な(計画、管理、調整、結果の処理)開発プロセスを設定している。

☐

開発プロセスが適切な要員によって確実にチェックされるようにしている。

☐

実施される可能性のある外部委託のプロセスとサービスが、自社の要求事項を満たしている。これらのサービスの選択プロセスとレビューを定義している。

☐

製品またはサービスが指定された要求事項を満たしているかどうかを適切なフェーズでチェックし、実施に問題がない場合にのみ確実に承認が与えられるようにしている。

☐

承認プロセスの一貫した文書がある。

☐

定義済みの計画に則していない結果を管理および文書化している。

箇条9－パフォーマンス評価

☐

誰がいつ、何を監視、測定、分析、および評価する必要があるかを決定し、結果の証拠として文書化された情報を保持している。

☐

顧客満足を監視するための適切な方法を特定しており、それらを継続的に適用している。

☐

FSMSの有効性と保全、およびISO 22000規格の要求事項との整合性をチェックするために、総合的に計画された内部監査を継続的に実施している。

箇条10－改善



不適合および苦情を処理するための定義された手順があり、これには是正措置および文書化の実施も含まれる。



FSMSの継続的改善のために、分析と評価の結果を検討し、マネジメント評価も含めている。

ISO 22000認証取得の詳細は、当社のウェブサイトをご覧ください →

LRQAが選ばれる理由

信頼され尊敬されるパートナーと協力してマネジメントシステムの認証を受けることは、高い規格が設定され満たされていることを、利害関係者に示すための唯一の強力な方法です。認証は、安全で持続可能かつ倫理的な働き方へのコミットメントを示すことで、現在の評判を高めながら、将来のリスクを最小限に抑える業務慣行を確保するのに役立ちます。

戦略的ビジョン

LRQAの技術的ノウハウ、業界の専門知識、革新的で先見性のあるアプローチが、現在の課題に対応し、将来的により安全で、よりクリーンで、より弾力的で、より倫理的な組織になることを支援します。

技術的な専門知識

LRQAのスタッフは、認証、検査サービス、持続可能性、教育・訓練、サイバーセキュリティなどのセクターや技術における一流の専門家です。お客様のチームと協力して、リスク、課題、ニーズを明快に理解したうえで、現在および将来のビジネスの成長を支援するために知識を共有します。

グローバルな審査能力

160か国以上で事業を展開し、世界中で30以上の認定機関に認められ、幅広い業界をカバーしています。お客様のビジネスとサプライチェーンの両方において、リスクマネジメント、ビジネス改善の推進、利害関係者との信頼関係の構築、持続可能性目標の達成を支援することができます。

効果的なパートナーシップ

どのビジネスも固有の特徴があります。だからこそLRQAのエキスパートがお客様と協力し、そのニーズと目標を完全に理解し、支援のためのベストな方法を検討することが必要です。先駆的アプローチ LRQAには率先して業界を構築してきた実績があり、あらゆる機会を活かしてクライアントと協力し、新たなアイデア、サービス、イノベーションの開拓を絶えず続けています。

**Fresh
thinking**

お問い合わせ

詳細については、<https://www.lrqa.com/ja-jp/>をご覧ください。

LRQA リミテッド
〒220-6010
横浜市西区みなとみらい2-3-1
クイーンズタワーA10 階

YOUR FUTURE. OUR FOCUS.

LRQA

本書に示すすべての情報が正確かつ最新であるように、LRQA リミテッドでは細心の注意を払っています。ただし、情報の不正確さや変更について当社は一切の責任を負いません。LRQAは、LRQA Group Limited およびその子会社の商号です。詳細についてはwww.lrqa.com/entitiesをご参照ください。 © LRQA Group Limited 2023